



鳥取大学地域価値創造研究教育機構

CoRE & CDL TIMES 19

2024年7月～2024年9月

とっとり キャリアノート

「とっとりキャリアノート」は、学生が記者となって県内企業を取材し、その魅力を深掘りする取り組みです。就活に直結する場（企業説明会やインターン）よりカジュアルに話を聞くことができ、実際に社員が働いている姿など企業のリアルな様子を見ることができます。



2024.8.1

リコーITソリューションズ株式会社

学生5名が取材を行いました。

2024.8.8

リコーインダストリアルソリューションズ株式会社

学生4名が取材を行いました。

2024.9.5

イサナドットネット株式会社

学生2名が取材を行いました。

参加学生の声

「正直あまり企業について知りませんでしたが実際に見て、質問することで色々な知識を身につけることができました」
 「時間もたくさん設けていただいととても楽しい時間を過ごすことができました」
 「事前には会社の雰囲気がわからなかったが、非常にあたたかく迎えて下さり、社員同士の関係も良かった」
 「ITという堅いイメージがあったが、交流できる場がしっかり設けられており、雰囲気が本当に明るく、楽しい職場だと感じた」

取材のレポートは「鳥取大学振興協力会 会員企業ガイド」として公開を予定しております。



鳥取大学 サイエンス・ アカデミー

公開講座サイエンス・アカデミーでは鳥取大学の様々な分野の教員が登壇し、取り組んでいる研究や関連分野のトピックなど、地域の方向けに専門家の立場からわかりやすくお話しします。

令和6年度のテーマ

鳥取大学発 「社会の課題」に向き合う

【場所】鳥取県立図書館
【日時】毎月第2・4土曜 10:30～12:00



とっとり県民カレッジ連携講座 鳥取大学サイエンス・アカデミー 令和6年度7月～9月分プログラム

開催日	タイトル・講師
<シリーズ> 7/13	シン技術が変える鳥取の暮らし～ AI・VRによるインフラの維持管理 ～橋や道路を使い続けられるために～ 工学部社会システム土木系学科 准教授 江本 久雄
7/27	ChatGPTとテキスト処理の利用例 工学部電気情報系学科 教授 村田 真樹 ※新潟県会場での開催はございません。
<CoRE> 8/24	ブックレットコラボ～ 子どもとより良いかわりを育むための一人でする体験型ワークショップ 帝京大学文学部心理学部 准教授 角南 なおみ ※zoom視聴はございません。
<シリーズ> 9/14	シン技術が変える鳥取の暮らし～ 傷害バイオメカニクス—機械工学でヒトの身体の不思議に迫る— 工学部機械物理系学科 教授 田村 篤敬
<シリーズ> 9/28	鳥取大学から発信するシン産業～ 新しい産業に貢献できる機械化技術の研究（仮） 農学部附属フィールドサイエンスセンター センター長(教授) 野坂 和好

学生 CoRE

コミュニケーター

今年度より学生が主体的に地域と連携して活動する制度です。

以下①～③により本学の学生の県内定着を推進することを目的として活動しています。

- ① 学生の視点や意見を取り入れることを狙いとする
- ② 地域社会との連携に関わる支援活動に従事させることで地域を支える人材へと学生を育成する
- ③ 地域の課題解決や相互交流の促進に資する活動を活性化する

このような活動をします

大学の地域連携事業やイベントの自主企画/地域のイベントやプロジェクトの参加/他の学生が実施する地域連携活動への助言

冊子『地域へ Go ! ～社会を動かす鳥大生～』

学生 CoRE コミュニケーターが8つの学生団体を紹介する冊子を作成！地域社会に貢献する鳥取大学生の熱意と創造力が詰まった内容です！



鳥大卒業生に聞きたいこと。PART 2



卒業後に県内で働く先輩との交流を行うことで、就職活動におけるアドバイスや相談などが可能な繋がりづくり、県内就職者数の向上を目的としています。7月18日に、株式会社鳥取銀行と鳥取市役所から4名の先輩ゲストをお招きし、交流会を開催しました。先輩たちから現在取り組んでいる仕事内容や、学生時代に取り組んでいたことについて紹介をうけ、学生からは多くの質問が飛び交いました。ゲストは経験に基づいて丁寧に回答しました。その後和やかな雰囲気の中で情報交換が行われました。

鳥取の食品企業の方から商品開発のノウハウやストーリーを学び、鳥取を代表する商品を開発することを目指すプロジェクトです。7月19日には、大江ノ郷自然牧場（有限会社ひよこカンパニー）から講師をお招きし、大江ノ郷自然牧場が手がけるスイーツの試食と商品開発の流れを学びました。7月29日には、株式会社 OMOI から講師をお招きし、「砂プリン」や「三朝ヨーグルト」を試食し商品開発を学びました。各日とも新商品のアイデアを参加者で考え、活発な意見交換が行われました。



ローカルフード開発プロジェクト

とっとりSDGs 未来アカデミー

地域の方との繋がりの中でSDGsや鳥取の未来について考えることを目的としたプロジェクトです。第3弾となる今回は、「お買い物で学ぶフェアトレード」をテーマとして企画し、7月26日にCDLにおいて、TOTTORI COFFEE ROASTER 代表の田中治氏を講師に、ご自身の経験を踏まえたお話やお買い物ごっこを通してフェアトレードについて紹介していただきました。会場には学生や社会人の方など約20名にご参加いただき、「フェアトレードについての理解が深まった」「自分でも行動に繋げてみたい」などの声が聞かれました。



鳥取の子どもたちにゲームを通じて手話の大切さを伝えることを目指すプロジェクト。今回の手話体験講座は、手話に関心のある子どもだけでなく、手話にまだ触れたことのない子どもたちにも参加してもらい、手話の楽しさや重要性を体験することを目的に実施されました。参加した子どもたちは大学生と一緒に「手話でフルーツバスケットゲーム」や「仲間探しゲーム」を行いました。参加した子どもたちから「声を出さなくても友達に伝わるのが不思議だった」「もっと手話を学びたい」という声が聞かれました。

手話で地域をつなぐプロジェクト

企業見学 シャトル便

授業の空き時間を利用して少人数で県内企業を見学できるよう、2016年から実施している「地域創生推進プログラム対象の課外活動」です。企業の施設や設備を実際に見学することで、「知識の定着につながる」、「就職に役立つ」と学生にも人気のプログラムです。

2024.8.8 株式会社インフォメーション・ディベロPMENT

参加：農学部6名、工学部4名、
地域学部4名、医学部1名



世界中どこにいても、バーチャル空間上で共同作業が行えるVROPの技術を体験し、働き方の多様性を実感することができました。

2024.8.8 寿製菓株式会社

参加：農学部6名、工学部4名、
地域学部4名、医学部1名



観光土産菓子やギフト向け菓子の企画・開発・製造・販売を行う企業を見学。独自の商品の見せ方や戦略、会社の充実した雰囲気には学生は興味津々でした。

2024.8.9 日本海ケーブルネットワーク株式会社

参加：農学部1名、工学部1名、
地域学部3名



ケーブルテレビや光インターネット、スマートフォンなどのサービスを提供する企業を見学。インタビュー収録の番組体験もでき、学生も楽しそうでした。

2024.8.20 三菱マヒンドラ農機株式会社

参加：農学部12名、
工学部1名



トラクターなどの農機を開発するだけでなく農業施設事業まで行う企業を見学。社員自身の考えが重視される印象を受け、働きやすい環境であると感じました。

2024.8.28 若桜町役場

参加：工学部2名



工学部社会システム土木系学科の授業「地方創生プロジェクト」にて「日本三大投入堂の岩屋堂を活かす」をテーマに若桜町の総合計画を学びました。

2024.9.10 福部町総合支所

参加：工学部2名



「福部のまちづくり構想の進化」をテーマに支所内の各課をはじめ、砂の美術館や砂見川工事現場などを見学。まち全体の活性化をはかる計画が印象的でした。

2024.7.17 流通株式会社

参加：農学部1名



関金温泉に温泉ホテル「HOTEL 星取テラスせきがね」を開業する流通（株）が行っている「企画アイデアのグループワーク」を体験しました。

2024.8.8 株式会社今井書店

参加：農学部6名、工学部4名、
地域学部4名、医学部1名



鳥取県・島根県で16店舗を持ち、書籍以外にも文具・雑貨・食品など幅広く取り扱う今井書店。新アプリを利用した蔵書探しも体験しました。

2024.8.9 株式会社新日本海新聞社

参加：農学部1名、工学部1名、
地域学部3名



鳥取県を中心に日本海新聞を発行する総合メディア企業を見学。実際に新聞を作ったり、レポート体験を通して、新聞社の仕事を知ることができました。

2024.8.15 有限会社村岡オーガニック

参加：農学部3名



県内を代表する農業法人の仕事内容や経営者の想いを伺いました。苗等の植物を通し、人に喜んで貰えるよう試行錯誤しているのが素晴らしいと感じました。

2024.8.20 有限会社河島農具製作所

参加：農学部12名、
工学部1名



農業機械製品を中心に企画・開発・生産を行う企業を見学。農機の生産ラインを見て、農具の進化が農作業の効率向上に貢献していることを知りました。

2024.9.9 境港市役所

参加：工学部3名



さかいポートサウナや水産物直売センター、夢みなとタワーなどを見学し、観光地としての魅力、自治体と団体・企業が連携しやすい街だと知りました。

2024.9.11 八頭町役場

参加：工学部2名



「文化・交流施設あーとふる八頭の活用」をテーマに現地を訪れ、現状を学習しました。地元住人との意見交換会を頻繁に行っており、学生にも好印象。

鳥取大学サイエンス・アカデミー 特別ワークショップ

テーマ：「他者とかかわる自分を大切にできる心理学」

講師：帝京大学文学部心理学科 准教授 角南なおみ

8月24日に行われた鳥取大学サイエンス・アカデミーに合わせて、他者との関わりの中で自分を大切にできるための心理学を題材とした特別ワークショップを開催しました。19名の方が参加され、「話の聴き方で子どもたちの安心の場になり、将来の夢も語れる力になると思います」「楽しいグループワーク、世代の違う方ともお話しできて良かった」「あつという間の二時間でした」と感想をいただきました。



出前体験交流会

出前体験交流会とは、県内企業がCDLを訪問し、学生に向けて自社の商品・技術・サービスなどを実演や疑似体験により説明するイベントです。

2024
7月4日

参加：農学部3名、工学部1名、
地域学部2名

《流通株式会社》

2025年春に倉吉市関金温泉に「HOTEL 星取テラスせきがね」を開業する流通株式会社。今回はイベント企画・体験企画など、さまざまな企画ってどうやって考えるの?のもととなる、企画立案のグループワークを開催しました。学生たちは楽しくアイデア出しを学ぶことができました。



2024
8月7日

参加：農学部1名、工学部2名、
地域学部4名

《株式会社ウッズカンパニー》

「未来の住宅デザインを創造しよう!」をテーマに特別インターンシップをCDLで行いました。株式会社ウッズカンパニーのプランナーとして、お客様への間取りや予算のご提案など家づくりの提案体験をしました。学生は予算や要望を踏まえつつ提案することに難しさと達成感を感じました。



CoRE ラジオ

「もっと鳥取大学を身近に感じてほしい」という思いから当機構ではラジオ番組を放送しています。月ごとに教職員または学生をゲストに招き、地域に関する研究のことから趣味のことまでご紹介します。



7月のゲスト

工学部化学バイオ系学科
研究推進機構未利用生物資源活用研究センター副センター長

八木寿梓 准教授



8月のゲスト

教育支援・国際交流推進機構国際交流センター
グローバル教育部門

CHAN CHEONG JAN 教授
燕木絵実 助教



9月のゲスト

農学部生命環境農学科 植物分子生物学分野

上中弘典 准教授



Check

FM鳥取を受信できない方は、インターネット（リアルタイム配信のみ）からお聴きいただけます。

過去に放送されたアーカイブはこちらからお聴きいただけます。



【放送局】FM鳥取 (82.5MHz)
(MC 山下弥生さん)

【放送日】毎週日曜 18:00 ~ 18:59



supported by **RADIO BIRD**
FM TOTTORI 82.5fm

ホームページ随時更新中!
CoREの活動やイベントの
情報盛りだくさん!



CDL
(コミュニティ・
デザイン・ラボ)
とは?

CDLは、当機構による様々な活動をスムーズに、活発に行っていくための拠点です。

地域の住民、学生、教職員など、様々な立場の方が協働を目的に使用することができます。

ご利用方法は上記のCoREホームページをご確認ください。

<https://www.core.tottoti-u.ac.jp> 鳥大地域価値

CDL コミュニティ・デザイン・ラボ

所在地：鳥取市湖山町南4丁目101番地

(鳥取大学正門入ってすぐの広報センター内)

Mail: chi-cdl@ml.adm.tottori-u.ac.jp